

臨時校長研修会を開催しました

7月19日（水）、新潟県立教育センターを会場に、「平成29年度臨時校長研修会」を開催しました。これは、中高生の死亡事案が続いたことを受け、県教育委員会が自殺やいじめ防止に向けて行っている緊急対策の一環として開催したものです。会には公立の中高の校長ら約380人が参加し、生徒の自殺を予防するための対策を確認しました。

（主な内容）

○ 教育長あいさつ

- ・痛ましい出来事が繰り返されないよう、校長という最高責任者としての役割を再認識し、どの学校でも起こり得るとの意識を強く持って欲しい。
- ・校内でも研修を行い、教職員の力量、感覚を高めてもらいたい。
- ・子どもの変化に機敏に対応できるよう、情報のキャッチと共有、組織による対応、保護者など家庭との連携、外部機関と積極的に連携して欲しい。

○ 義務教育課課長の指導

「子供の自殺予防に向けた校長の役割」

- ・文部科学省初等中等教育局生徒課発行の「子どもの自殺予防」「緊急対応の手引き」から校長の役割についてを中心に再確認
- ・教職員が1人で問題を抱え込まず、チームで対応する態勢をつくることや、外部機関を積極的に活用し、連携を図ること。
- ・夏休み前の集会等で、子どもの命を守る視点に立った話をし、校長の思いを届けて欲しい。

○ 新潟県警察本部少年課課長補佐より

「新潟県警察本部少年課いじめ対策係との連携について」

- ・警察に相談することは、学校の力不足ではない。連携を強化していきたい。
- ・11の警察署に配置している、スクールサポーターを積極的に活用して欲しい。

○ 恵生会南浜病院 後藤雅博 院長

「思春期の危機とその対応」

- ・子どもの心理的発達に伴うストレスや病気、自殺とうつ病、自殺の予兆について
- ・思春期には家庭や友人、学校がストレスになる。学校と家庭で生徒の抵抗力の判断を一致させておくことが大事。特に発達障害や境界知能の生徒には注意が必要である。

